

# 渋沢栄一の意志をつなぐ

渋沢栄一が設立に関わった企業のDNAを探る

東京商工会議所の初代会頭渋沢栄一は、当時約500を超える企業の設立などに関わった。それらは「民の力を強くしなければ、世の中の繁栄はない」、「公益と私益の両立」といった渋沢の強い「意志」によって生まれてきた賜物である。

東商は昨年、創立140周年を迎えた。この特集では、渋沢栄一の功績を改めて振り返りながら、渋沢の意志をつなぎ、現在でも活躍している企業から、その取り組みや想いについて話を伺い、次世代に向けた企業や社会の目指すべき方向性について考えていく。

## 渋沢栄一の意志①：多くの企業設立

渋沢栄一が関わりを持った約500の企業は、金融・建設・鉄道・ホテル・ビール・電気・ガスなど、あらゆる業種にわたる。渋沢はこれらの企業について、直接役職に就いたほか、指南役としての関わり、創業者らに賛同した出資、講演、寄稿での関わりなど、様々な形で関与していた。



大日本麦酒  
(現サッポロビール)

渋沢は個人主義に基づく利潤の追求ではなく、国家社会全体の利益としての公益を増加させることを第一とし、最も適した人材と資本を集めた「合本組織」による事業経営の考え方を唱えていた。こうしたことから、企業設立のほかにも、約600の教育機関や社会公共事業の支援に尽力し、幅広く社会に貢献していた。



東京瓦斯現東京ガス

## 渋沢栄一の意志②：東商の設立

商工会議所制度の誕生は、明治維新後、わが国経済社会が資本主義制度に移行していく過程と軌を一にしており、時代の要請に基づいて設立に至っている。

当時の明治政府は、長い鎖国政策により欧米諸国に立ち遅れた国力の増進強化を目指していた。一方で、自主独立や殖産興業を阻む不平等条約改正の取り組みの中で、「日本には商工業の世

東京商業会議所ビル  
(現東京商工会議所)



論を結集する代表機関がない」との反駁を諸外国から強く受けた。そこで、わが国商工業の発展を図るべく、伊藤博文や大隈重信らが

渋沢に商工業者の世論機関の設立を働きかける。そして渋沢は、大倉喜八郎ら7人の発起人とともに1878年、東京商法会議所(1928年に東京商工会議所へ移行)を設立した。



渋沢栄一の銅像  
(新東商ビル1階に設置)

### 渋沢栄一の意志をつなぐ企業クローズアップ

#### 第1回 サッポロホールディングス会長 上條努氏

#### 当社の経営理念の中にも 根底には渋沢の想いを受け継いでいます

会社のルーツと渋沢栄一の関わり

当社は1876年、札幌に設立された「開拓使麦酒醸造所」が発祥になります。渋沢栄一は、後身として87年に設立された「札幌麦酒会社」に携わり、委員長に就任しました。

当時のビールに対する認知度は、現在と比べると非常に低く、一部の富裕層や外国人が嗜む程度でした。従って、市場としては小さい規模でしたが、渋沢は欧米の状況をよく知っている中で、ビール事業に目を向け、ビール業界発展の基礎を作った人物だと認識しています。

#### 渋沢栄一の印象

それぞれの企業が集めた資本を、広く民のために活かすべきだ、といった渋沢の考え方は、非常に真理をついたものだと思います。当社の経営理念(潤いを創造し豊かさに貢献する)の中にも根底にはこうした想いを受け継ぎながら活動をしています。また、社員に対しても、当社の歴史を知ることについては非常に重要視しており、社員研修の中で渋沢栄一の関わりについては必ず話をし

渋沢栄一ら札幌麦酒会社に譲渡された際の「約定書」  
(サッポロホールディングス所蔵)



ています。

渋沢は、見聞を広めながら多くの人と交わる中で知見を膨らませていったという印象があります。人が好きで人のためにという想いが非常に強かったのではないのでしょうか。個人的にも、もっと渋沢のことを深堀りしたいと思います。



上條会長

#### 渋沢の精神を引き継ぐ

これだけ災害や異常気象なども多く、今後世の中がどうなっていくか誰にも分からない状況の中で、世の中をどう捉えていくかは非常に重要なことだと考えます。

私は東商創立140年記念事業として、次の10年に向けて策定した「140(意志)つなぐ 東商ビジョン」の策定委員長を務めましたが、同ビジョンの中で、「変えざるべきものは変えず、変えるべきことは変える」という考え方を唱えています。確固たる信念を持ちながらも、柔軟性を持って対応していくという姿勢は、渋沢の意志や行動と照らし合わせると共通している部分があります。

当社でも、これからの活動において引き続き渋沢の意志を受け継ぎながら様々な事業に取り組んでいきたいと思っています。また、東商の活動においても、渋沢の意志を踏まえて、大企業と中小企業が共に進化していくために、頼りにされる存在であり続けることを期待しています。

お問い合わせ



東京商工会議所 事業推進部

☎03(3283)7766

東京きらぼしフィナンシャルグループ  
きらぼし銀行

2018年5月1日、東京都市銀行と八千代銀行、新銀行東京の3行合併により、「きらぼし銀行」が誕生しました。

スモールビジネスローン

創業融資にもお役立て下さい

東商会員向け優遇商品

資金ニーズに

翌日回答

スモールビジネスローン  
「東商シリーズ」

「東京商工会議所メンバーズビジネスローン」  
提携商品

無担保

第三者保証  
不要

決算書  
1期分

お申込に際しては当行の審査がございます。

ご予約のうえ、ご来店ください。

※尚、審査の結果ご希望にそえない場合もございます。  
※お申込に際して手数料等の費用は一切かかりません。

ホームページアドレス

<https://www.kiraboshibank.co.jp>

詳細につきましては、きらぼし銀行 ビジネスセンター(東商担当)

フリーダイヤル は ゴーゴーキック

☎0120-8-55919

までお気軽にどうぞ

受付時間：平日 9:00~17:00  
(土・日等の銀行休業日を除く)

スモールビジネスローン取扱窓口は、中小企業・個人事業主の皆様の『資金調達サポートデスク』として、スモールビジネスローンの取扱いをはじめとする幅広い事業資金のご相談に応じております。

スモールビジネスローン取扱窓口以外で当行と融資取引のある方は、取引店担当者までお電話ください。